

第28号

○発行年月日
平成26年10月20日
○発行
社会福祉法人
安房広域福祉会
〒294-0231
千葉県館山市中里288-1
TEL0470-28-2422
FAX0470-28-2424

にじのかけはし



作品名 『サボテン』 高木美恵

中里ふれあい祭

11月3日(月)

10時30分～14時30分

※雨天決行

催事内容

館山三中吹奏楽部演奏
新米すくいどり
保護者会バザー
くじ引き等

模擬店

屋台ラーメン・焼きそば
フランクフルト・焼き芋
杏仁豆腐等
ふれあいショップコーナー
ゲームコーナー
アクセサリー販売(桜の里)
無料配布
ポップコーン・風船・紅白もち

多くの方々のご来場をお待ち
しております。

ボランティア募集のお知らせ

中里の家・中里ワークホームでは、
作業など一緒に参加して下さる方、
散歩の付き添い、食事の介助等
随時ボランティアを募集しています。

お問い合わせ先・連絡先

■中里の家 館山市中里288-1

☎0470(28)2022

■中里ワークホーム 館山市中里291

☎0470(28)2422

今年も楽しく夏祭り

支援員 大竹莉紗

8月6日に施設のグラウンドにて「中里ふれあい夏祭り」を開催しました。

今年は、準備期間から天候が不安定で風も強く、当日を迎えるのが心配でした。ですが、施設を利用されている方々や地域の方々から「今年も楽しみにしているよ」「花火見たいな。」という声を頂き、心配よりもご来場して



▲力強く♪♪

頂いた全ての方々に満足していただけたようにという気持ちになりました。

当日、お祭りにふさわしい笛と太鼓の音が会場に広がり、幕開けしました。利用者さんと職員が一体となり、力強く屋台の引き回しをスタートさせてくれました。学生フラインゴが始ま



▲屋台引き回し

る時、日が落ち提灯の明かりが優しく会場を照らしているのがとても素敵で良い雰囲気でした。その後、アンクルス・スイート・フラダンスの方々、里見流家元の皆様による日本舞踊と盆踊りを披露して下さいました。利用者さんや会場にお客様を巻き込んでのパフォーマンスで盛り上げてくれました。

夜店では、ワークホームの焼きそば・フーメンをはじめ協賛販売のお店が並び、皆さんのお腹を満たしてくれました。今年はボランティアとして安房高と安房西高の生徒さんが来て下さり、販売を盛り上げていただきました。祭礼研究会の方々のおかげで子供達がいっぱい集まりました。最後のメインイベントといたら、「大抽選会。」当たった方々の笑顔がとても印象的でした。そして祭りを締めくくるのにふさわしい「花火！」と思っていたのですが、風が強くとち上げることができませんでした。実行委員として、

花火を打ち上げられなかった事がとても残念です。しかし、900人以上のお客様が来て下さり、会場が笑顔で溢れて幕を閉じることができた夏祭りになり嬉しく思います。

イベントを終え、皆様から楽しかった。どうもありがとう。」という声を頂きました。この夏祭りが無事成功し、皆様に喜んで頂けた事が私達の喜びです。皆様のご協力と笑顔に感謝です。ありがとうございました。



▲盆踊り

八坂神社さいれい

落合正文

こんかいのおまつりは、ほかの地区からつたいにきてくれてもりあがりこつたいができてほくもたのしくおまつりができました。

安房神社と八坂神社とならんであるくのははじめてです。らいねんも安房神社にいくからまたもりあがるのでほくもたのしみにまっています。

中里ワークホーム

お盆休みに
バーベキュー!

栄養士 川名 卓也

8月15日、夏の帰省で利用者さんが少なかったですが、ワークホームでバーベキューを行いました。メニューは焼きそば・焼きとうもろこし・フランクフルトでした。最後に、農産加工で製造している夏みかんのシャベット!とても暑い日でしたので冷たいデザートが喜ばれました。

暑い中、準備をしてくれた職員には感謝です。また利用者さんも積極的に焼くのを手伝ってくれて、助かりました。

屋外でいただく食事は、いつもの給食とは違い楽しめたのかなと思います。



中里の家 レクリエーション大会

支援員 馬目 佳輔

去る6月11日、第5回レクリエーション大会を実施しました。中里の家利用者さん、武田理事長、中里の家職員に加え、桜の里の利用者さん、職員にも参加いただき、盛大に行われました。

会場は今年も富崎小学校を使用させていただくことに。思い起こせば1年前、雨で体育館での開催になった。今年こそはと意気込んでいましたが、天気はやっぱり…。「思えばいつもの日も雨♪♪」というフレーズが聞こえてきそうです。(古いか?)



▲玉入れ競走

全員で準備運動を行った後、最初の競技は玉入れ競争。赤組と白組に分かれてみなさん気合い入りまくり！スタートの合図を待ち切れず玉を投げ始めちゃう人もいましたね。懸命に玉を投げ入れる選手たちの姿

に、大きな声援が送られていました。続いて行われたのは、恒例のパン喰い競走。毎年この時間は、心なしか、みなさんの目が輝いているような。スタートの合図で吊り下げられたアンパンに向かつて一直線。あれ？みんなそんなに足早かったっ



▲パン喰い競走

け？(笑) 食べ物がかかると力が増すんですね。競技の後には自ら掴みとった戦利品を美味しそうに頬張る姿がありました。

そして、レクリエーション大会と言えば欠かせないのが余興。昨年に引き続き今年も完成度の高い踊りを披露してくれたのが、桜の里のみなさん。今年はSKR48 (SAKURA) による「恋するフォーチュンクッキー」のダンスで会場を盛り上げてくれました。SKR48のみなさん、ばっちり撮影しておきましたよ！中里の家職員によるアトラクションでは、あの「心



▲SKR48のみなさん

なっしー」(?) が登場。風船割り競走、顔を真っ白にしたアメ喰い競走、更に本家に負けない美声と体のキレで楽しませてくれました。

休憩をはさんで、最後の競技は対抗リレー。走るコースを勘違いしてしまう珍プレーもありましたが、白熱した真剣勝負が展開され、会場のボルテージは最高潮。意外な機敏さを見せつけてくれた方もいました。

今年も無事、ケガなく、楽しく大会を終えることができました。残念ながら室内での開催とはなりませんが、とても盛り上がった大会となりました。

最後になりますが、今年も富崎地区の方々にご参加いただきました。みなさまのご声援により、利用者の方のみなさんの元気と笑顔が多くみられた1日となりました。本当にありがとうございました。

中里の家

お盆休みのお楽しみ!!

支援員 飯田麻衣子

中里の家では、8月13日～16日まで夏期の帰省期間でした。帰省されない方にも夏休みを楽しんで頂くとうと毎年イベントを考えています。今年のイベントは、毎年恒例のBBQとかき氷作りでした。

8月14日、中庭にBBQセットを用意し、みんなで焼きそばやフランクフルトを焼いて食べました。農園班で作ったゴーヤや手作りおにぎり、大きなスイカもありました。みんなで作って、みんなで食べて、とても満足されたようでした。

8月15日、かき氷作りをしました。いつもよりちょっと贅沢に山盛りのかき氷。イチゴ、メロン、レモン、ブルーハワイのシロップから好きな味を選んでかけて食べました。おかわりをして、いろいろな味を試す方もいました。

お盆休みのお楽しみイベント、今年も大成功でした。みなさんの笑顔や「楽しかった。」という言葉が本当に嬉しいです。これからもみなさんに喜んで頂けるイベントを提案させて頂きたいと思っております。



▲中庭 BBQ ♪



▲大満足~!!

中里の家

二ード別旅行

支援員 平嶋 洸介



▲これから靖国神社へ向かいます

8月27、28日に稼働班の二ード別旅行で東京方面へ行ってきました。最初に訪れた靖国神社では全員で費銭をし、境内を見学しました。実物大のゼロ戦が展示されており、みなさん関心を持たれていたように感じます。東京ドームで「巨人対阪神」戦を観戦しました。夏休みの期間ということもあり、立ち見席が出るほどの盛況ぶりでした。得点が入ると皆さん拍手をされて喜んでいました。朝食はホテル内のバイキング!!。お皿山盛りにパンを取り、たくさん食べ満足!!。葛西臨海水族館では水辺の生き物たちとふれあうことができました。事故もなく楽しい旅行となりました。

こすもす

夏休みの思い出

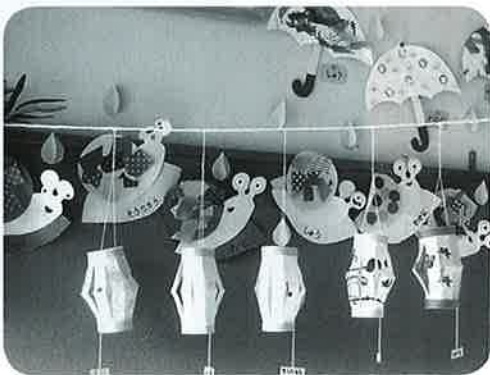
支援員 家守 亜矢



▲ビニールで作ったドレスすてきでしょ?

▲プラレールで大きな駅かな?

「暑い!」朝から気温30度!! 今日もこすもすは、絶対プール遊び日和。午前8時40分、こすもすの庭にプールを出し、水を張りながら空を見上げ、今日はどんな遊びが繰り広げられるだろうと考えます。夏休みは、普段体験できない事ができ、お子様達が体も心もたくましく成長する時だと思えます。こすもすでも普段の日よりも、じっくりと色々な遊びができる時間がありました。プラレールなどのおもちゃで遊んだり、お絵かきや製作の時間も多くあり、超大作が完成していま



▲つくしんぼクラスの制作者

した。ビニールを使い素敵なおドレスもできました。お子様の作品は、大人の想像を超えていて、とても素敵で夢のあるものです。本当にこんな電車と駅やドレスがあったらとワクワクします。もしかすると、彼らが大人になったときはそんな夢が叶っているかもしれません。プール遊びでは、水鉄砲や滑り台が人気でした。すいかも甘くて、庭で食べる最高に美味しいです。そんな毎日を通り、8月の終わりにはみんな真っ黒に日焼けしていました。ところで宿題は...? 沢山の思い出を作った夏休みでした!

中里ワークホーム

稲刈り

支援員 江部 徹



9月5日、本来であれば「今日で稲刈り無事終了。」と言いたいところですが: 終わ

りません! しかも半分しか。(涙) 8月末から予定していた稲刈りですが雨・雨・雨で予定が大幅に遅れてしまいました。朝露が稲に付いた状態で稲を刈ってしまうとコンバインが壊れてしまいます。快晴で少し風が吹いているくらいがベストコンディションなんです。今年例年に無いくらいバットコンディションです。お天気ばかりはどうにもならないのですが、ここまでひどいと諦めもつくかも? まだまだ折り返しですが、安房広域福祉会で年間12トンのお米を消費するみなさんの胃袋を満たす為にも、あと一息頑張らなくてはなりません。この記事がみなさんのお手元に届く頃には、大変だった4ヶ月間も忘れてしまうくらいの、ピカピカの美味しい新米を食べていることでしょう。

中里の家

一泊旅行

支援員 國井 早苗

中里の家では、9月25日、26日にかけて、利用者さんとご家族の方々と共に、栃木方面に旅行に行つてきました。

利用者さんの方々もいつになく早く起きし慌しい中、バス4台に乗り込み出発。

1日目は日光市にある日光江戸村へ行きました。まるでタイムスリップしたような気持ちになれる場所であり、江戸時代の風景と着物を着た人たちに圧倒されました。

ホテルでは、温泉で疲れを癒し、現地の名産物が並んだ美味しい料理を食べながら職員による余興や利用者さんのカラオケなどで盛り上がりました。

2日目はりんどう湖に行き、広大な敷地に湖があり自然を感じることができました。乗り物にも乗り、動物とふれあい、楽しい時



▲ポニーとの触れ合い



▲ダメよ〜。ダメダメ。石井・斉藤連合!!

間を過ごす事ができました。一泊旅行を無事行えたのも、皆様のご理解とご協力を得たからだと思います。この場を借りて御礼申し上げます。次回もまた元気に皆さんと旅行に行ける事を楽しみにしています。ありがとうございます。

ふれあいショップ平砂浦

支援員 坂本 翠

7月12日、今年で9回目を迎えた「あさがお市」を開催しました。

中里の家「農園班」が4月から種まきをし、水やりやつる巻きを毎日丹精込めて育ててきました。

あさがお市当日は、駄菓子やお面などを取り揃え、お越し頂いたみなさまには縁日の雰囲気味わって頂けたのではと感じております。

開店時間前から多くのお客様にお越し頂き、お陰様で80鉢の朝顔を販売することができました。ありがとうございました。

農園班の利用者さんは一生懸命朝顔を栽培し、「来年はもっと販売で



▲どれにしようかしら?



▲かき氷おいしそう!!



きるよう頑張ろう。」とお話されていきました。より良い品物を作るよう努めていきますので、またのご来店、心よりお待ちしております。さて皆様を支えられてふれあいショップも10周年を迎えます。今後とも地域の方々ははじめ、よろしくお願致します。

施設にお願い 中里の家保護者会会長 永井 康信

今年の夏は、私達利用者の親にとっても又、施設の職員さんにとっても、暑く過ごしづらい夏だったことでしょう。若い時は、苦でなかったことがつらく感じるようになってきました。

老いは、我が身にも、子供達にもやってきます。平均寿命が男性 80才、女性 86才になったそうです。それまで日常の生活が自分でやっていけるか不安です。子供も施設でお世話になっていますが、動けなくなったら何歳まで支援していただけるのでしょうか。

そこで、お願いですが、中里に特別養護老人ホームを作ることはできないでしょうか。詳しい仕組みは私には分かりません。できるなら子供も楽しくそれなりに生きて、よかったと思える人生を過ごさせてあげたいと思います。私も子供の居る土地で人生を終えたいです。他の方々は、どの様に考えていますか。そして法人の方々は、どのようにお考えでしょうか。じっとしていると時間がどんどん過ぎていく毎日です。

ご寄付の御礼

平成11年から19年まで社会福祉法人安房広域福祉会の理事また副理事長として法人経営にご尽力賜り、平成19年から21年まで顧問としてご協力いただきました故佐藤義雄様の奥様佐藤和子様が8月28日にご来所され、法人に対し20万円のご寄付を賜りました。

佐藤前副理事長には鴨川からの長距離を定期にご勤務いただきましたこと、勤務の際には時折、鴨川の美味しいお団子のお土産を持ってきて頂いたことなど思い出がよみがえります。

この度のご寄付は、今後の法人の活動に役立ててまいりたいと思います。

心から御礼申し上げます。

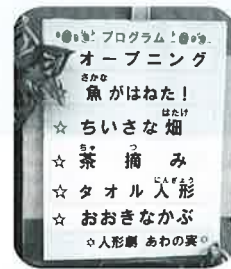
安房広域福祉会



桜の里

「あわの実」人形劇公演

支援員 森村 誠



▲これから始まります

7月8日、人形劇「あわの実」による、本格的な公演が桜の里にて行われました。当日は同法人の中里の家、中里フックホーム、こすもすの利用者の

方、また近隣福祉施設の利用者の方にもお越しいただき、満員御礼、大盛況でした。びっくりするくらい大きな人形が観客席に飛び込み、お花に見立てたうちわでリズムをみんなでとり、わくわくドキドキでした。自然と笑みがこぼれ、みんなで踊り、楽しい時間でした。

桜の里では2回目の公演、桜の里が開所して2年が経ち、わずかながらですが地域に開かれた施設に近づいてきた実感がします。今後も様々なイベントが開催できたらと思います。「あわの実」の皆様、ありがとうございました。



▲人形かわいい！

やすらぎの郷でのお仕事

相川 美由紀

私は、「やすらぎの郷」という老人ホームで働いています。仕事内容は、掃除と洗濯と調理補助を主にやっています。最初は、ここでの仕事が長く続くか不安でしたが、今ではすごく行くのが楽しくて、最近では私が行くこと笑顔で迎え入れてくれます。それがすごく嬉しくて、すごく私を元気にしてくれます。

私は、「やすらぎの郷」という職場を助めてくれた支援員の方に感謝し、「やすらぎの郷」のみなさんに出会えた事をとてうれしく思います。

仕事をしている中で、仕事内容をくわしくまとめた「やすらぎノート」を作る事になりました。一緒に働いている仲間が、困った時にこのノートを見て何か手助けになったらうれしいなと思いましたが。みんなで協力しながら、これからもお仕事をしていきたいです。

私は「やすらぎの郷」が大好きです。



中里の家

「視点を变えて」「てんかん発作」に

ついでに施設内研修に参加して

支援員 斉藤沙也加

私は、「視点を变えて」の講義を受け、ものの見方を変えるだけであらゆる側面から一つの問題点に対して考えることができるのだなと感じました。私は普段、支援させていたただく中で一つの課題に対して様々な方向性から考えることが果たしてできているのかと考えさせられました。

また同時に、様々な方向性から考えていくつか出た中で、その利用者さんにとって最も適した支援であるのか、その判断はとても難しいと正直感じました。今後、支援させていた

だく中で、さまざまな視点から考えることを意識して支援課題に取り組んでいきたいと思いました。講義の中で、各グループで例題に対し個々の意見を出し合って話し合いをし、他の意見を聞くことで自分自身にはない発想の考えも知ることができて良かったと思いました。

次に「てんかん発作」についての講義を受け、てんかん発作でも発作の種類が多くあり、てんかん発作について自身、勉強不足であることを痛感しました。今回、てんかん発作の種類と対応の仕方を実際に目で見て学ぶことができて良かったです。てんかん発作時に自分自身がまず冷静になり、その時の状況に応じて判断し対応ができるように、まず知識を身に付けていかなければならないと改めて感じました。

今回の職員研修に参加させていただき、支援課題に対し視点を变えて考えることの大切さ、支援のアプローチの仕方を变えてみることで新たに気付くことができるということを学ぶことができました。また、てんかん発作について知識を得ることができたので業務に生かしていきたいと思いました。

新職員紹介



中里ワークホーム
調理員
上野節子

8月の後半から調理員として働いております。多少調理補助の経験があったはずなのに勝手が違い戸惑っている所です。この年齢になってまたスタートラインです。不安はありますが、早く慣れる様に努力し、また御指導して頂きたいと思っております。又、沢山の新しい人達と出会えた事に感謝し日々過ごして行けたらと思っております。



中里の家
支援員
東 千春

9月から新しく入りました、東千春と申します。ごはんを美味しく食べられる事がなよりの幸福と思っております。2人の息子も負けず劣らず、食いしん坊です。おつちよこちゃんもいなので、ご迷惑をお掛けしてしまうかもしれませんが、どうぞよろしくお願いたします。



中里の家
看護師
大友卓也

初めまして、9月より中里の家に看護師として勤務しています。私は、看護師になり、長い間病院やクリニックの看護を行って来ました。今まで学んで来た事をこれからは皆様の健康維持、増進につなげるよう努力して行きたいと思っております。何でも気軽に声をかけて下さい、よろしくお願いたします。



中里の家
調理員
石井喜美枝

初めまして、9月8日から、中里の家の調理員として勤務する事になりました石井です。いろいろと覚える事が多いのでとまどっています。皆さんに教えて頂きながら、仕事にも早く慣れればと思っております。また、利用者の方とも、会話ができればと思っております。よろしくお願いたします。

初めての施設実習

植草短期大学 畠山 綾

初めまして。2週間の実習でお世話になりました、畠山綾です。私は、短期大学での最後の実習の施設実習をしました。初めて障害のある方との実習でわからないこともたくさんありますが、毎日周りの方に助けをいただきながら取り組みました。笑顔で明るく積極的に利用者さんとコミュニケーションを取るよう心がけて、施設での支援で工夫することができました。ありがとうございました。

日本大学 渡辺 大貴

中里ワークホームにて実習でお世話になりました。日本大学から来た渡辺大貴です。

本実習での思い出はチャーシューとお蕎麦が美味しかったことです。以上。というのは嘘で、わずか1週間という期間でしたが、支援員の皆様から頂いたお話はどれも私にとっては有難いもので、これから先も忘れられない事もありました。ありがとうございました。

ふれあいショップ平砂浦・和麵家中里のこと口コミで広げておきます☆

中里ワークホーム

梅干と
なすカラシ漬

支援員 大出 貴博

皆さん秋茄子つってご存知ですか？種が無い、体が冷える、とっても美味しいなど、諸説ありますが、嫁に食わすなどといわれているアシです。8月の暑い盛りに枝をきれいに落として、9月に再収穫すると虫にも食べられずとってもきれいで美味しいナスになるんです。その秋茄子を使って、中里ワークホームでは、毎年カラシ漬けを製造しています。きれいな青色と秘伝のカラシたれがセールスポイントです。是非皆さんで、そしてお嫁さんにも食べさせて頂きたい商品です。

そして今年も梅干しにもチャレンジしました。昔ながらの製法で樽に漬け、赤紫蘇で色付けて、じつくりと天日干し、最後に愛情をたっぷり注いでできあがり。どうぞご賞味下さい。



新そばがくるっ！

支援員 豊崎 千恵

いつ食べてもおいしいそばですが、一年で一番そばのおいしい時季がやって来ました。「新そば」入荷します。今年も暑かったこともあり、少し早い時季から新そばが採れるとか。香りの良いそばを石臼です丁寧挽いた中里のそば。ぜひお買い求め下さい。そして、おいしいそばと揚げたての天ぷら、その他デザートも取りそろえています。お食事は「和麵家中里」で。スタッフ一同お待ちしております。



編集後記

暑さもやわらぎ、秋風が涼しく感じる季節となりました。保護者の方々、地域の方々、お身体に十分気を付けてお過ごし下さい。また、このかけはしを通してより多くのことをご理解頂ければ幸いです。(小林)